

西山保育園避難路の拡幅は

工事をやる方向で調整に入った



織田昭雄議員

質問：…原の茶屋区から要望の出した西山保育園横の緊急避難路の拡

張、立沢橋歩道の凍結危険個所の改良は。

町長：…西山保育園の緊急避難路の拡張の要望については工事をやる方向で調整に入った。どのように作るのか検討していきます。立沢橋は当面、塩カルで対応するが、役場通り線拡幅第2期工事で対策を講じたい。建設課長：…諏訪建設事務所長に立沢橋の滑り止め舗装を要望している。歩道内の電柱や標識は撤去し、シルバーカーが通行できるよう移動の確約をいただいた。

■今年度の事業進捗状況は

質問：…中央道バス停駐車場の拡張と、分水の森交差点横の花壇整備が進まない理由は。

町長：…駐車場は用地確保ができており、6台分は今年度中に着工するが、残りについては用地が見つから

ず、見通しが立っていない。分水の森花壇は、大手企業から町営の高級住宅建設の提案があり、検討していた。結果として断念したが、計画した花壇の着工が遅れたため、来年度には完成させます。

■町が管理する公衆トイレ

質問：…すずらの里駅の公衆トイレの冬季使用対応は。

町長：…補正予算をお認め頂き、冬も使えるようにする。

質問：…トイレの管理状況は。観光地にふさわしい整備はできているか。

町長：…公共施設のトイレで使用頻度の高い所は毎日、頻度の少ない所は週1回から数回のレベルで清掃をしています。富士見駅のトイレは来年度予算化し、全部洋式化します。パノラマ再建の経験から、トイレの清潔感は観光客の満足度を高めます。公共施設もチェックします。

新規事業者だけでなく町内事業後継者へも支援を

町内事業者には年額4200万円を支援



三井新成議員

質問：…人口減少対策としてのテレワーク事業と新規就業者支援は

当初の目的に沿った展開となっているか。

町長：…総合計画の人口減少対策として5年間に500人の新規移住、定住者を増やし町内人口の減少を食い止める計画をスタートしている。テレワーク事業で150人、新規就農で150人子育て支援で100人、C CRCで100人を予定している。テレワーク事業では、サテライトオフィスに8企業が仕事を始めており常時15人くらいがいる。コワーカールの登録者は70人となっている。この事業は人口減少対策、町内の消費による経済対策、仕事の場の雇用対策を目指している。現時点では、都会からの移住者が9人、Uターン者が5人となり家族を含めると27人確保できている。目標は今年度中に30人を確保したい。新規就農者支援の実績は個人ベースで40組、家族を含め

て合計で63人となっている。加えて農業法人の参入もあり雇用で165人を確保している。

質問：…定住していただく家族は増える傾向にあるか。

町長：…人口の増加に大きく寄与している。

質問：…町内で暮らしている若者にとつての移住、定住者との公平性を保つために町内事業後継者にも生活、結婚、子育て支援等を行う考えは。

町長：…町内の若者対象の婚活パーティーを年2回行い、3人目の子育て支援に1200万円、未満児保育対策に950万円他に合わせて4000万円を、町内事業者にも制度資金等で4200万円の支援を行っており、公平性を取っていると考えている。今後も町の経済力アップを目指し、国の支援をもらっていく。

【その他の質問】

○上水道事業の有収水量

○分水の森公園について